

平成20(2008)年11月22日第111号

# 学校だより

## ヒューストン日本語補習校

Japanese Educational Institute of Houston

12651 Briar Forest Drive, Suite 105, Houston, Texas 77077

Tel. 281-531-6743 / Fax. 281-531-6795 (事務局 火~金曜日)

Tel. / Fax. 713-973-0659 (職員室 土曜日のみ)

E-mail: jlssh@jeihouston.org Home Page: www.jeihouston.org

### 教育講演会(2) 11/8実施 松本輝彦先生、柴田淳先生のお話から

OECD生徒の学習到達度調査(Programme for International Student Assessment)は頭文字からPISAと呼ばれ、OECD加盟国の多くで義務教育の修了段階にある15歳の生徒を対象に行われる調査です。内容は読解力、数学や科学の活用力がどれだけ付いているかを調べます。今から10年ほど前から始まった調査は、その結果を受けて、日本もアメリカ合衆国も影響を受け、世界中で教育改革が行われていることを前号で書きました。日本の全国学力テストやアメリカ合衆国の統一テストなどの学力テストがどんどん話題になって、ヒューストンで生活していても繋がりがあつたことを説明していただきました。

自己責任という言葉が頻繁に使われ出した昨今、周りが変わってきている現実を見て、“我が子をどのよ



うに育てていくのですか。我が子の教育について考えていきなさいよ。”と問いかけをされ、

進むべき方向を松本輝彦先生から示唆していただきました。その中で、“海外生活での失敗は絶対はない。目先の一つひとつはとても大変だが、自分で物事を考えて行動できる大人になることができる。”“日本人として、英語を身につけて行く中で、補習校に通い日本語を学んでいるから英語も日本語も力を付けていること、帰国しても英語の本を読むなど学習を継続することで日本語力も大幅に力を付けていく。”ことを強調されていました。

自分で物事を考えて行動できるようになるためには、深く考える力がついていないと言動や行動が軽いものになってしまいます。日本語でしっかり考え

られる人は英語でも考えられるし、逆も同じではないか、とお話をうかがって感じました。

茗溪学園中学校高等学校長の柴田先生からは、同校の目指す生徒像について話をいただきました。茗溪学園中高の学力レベルは相当高いと思われます。各自が高校2年生で書く論文は、その後の進路選択、決定に大きく影響を与えています。同校で学ぶ Study Skills については、校舎職員室においてある資料や補習校HPの学校だより第69号で触れていますので参考にしてください。また、運動もさかんでラグビーや剣道を引き合いに出して、調和のとれた人間を育成することをお話しされました。

話を聞き終わり、小原國芳という教育学者を思い出しました。「教育は全人教育でなければならない。全人教育とは調和ある人格をはぐくむことである。」と説いており、共通する部分が多くあつたように感じました。

お二人の先生からは、日米教育の現状や日本の大学受験情報、茗溪学園の目指す生徒像などの説明を通して、“我が子をどのような大人にしたいのですか。”と問いを投げかけられた気がしました。

講演会の内容から、自分は何ができるのかと考え、再確認したことは、補習校の教育目標である「子どもたちに国語力、算数数学の基礎的知識を身につけさせる。」こと、特に言葉を大切に、豊かな日本語表現ができるという教育の根幹部分を支援していくということでした。

放課後は高校生を対象に両先生と質疑応答の時間をとりました。

すでに自分の進路をしっかりと見据え、進路について下調べできているために質問があまり出てこなかったのかどうかは不明ですが、活発なやりとりまでいかなかったようです。近い将来、帰国予定の生徒、また、いつ帰国するかわからない生徒も、帰国するその時のために、進路に向けた準備をしておいてください。あなたの周りには、意外とのんびりしているように見えても、考えはしっかりとしたものを持っている人は多いように思いますよ。

松本先生、柴田先生には、翌日も午前9時から午後6時まで、児童生徒・保護者対象に教育相談を行っていただきました。ご多用の中、ヒューストン日本語補習校のためにありがとうございました。

## 入園・入学説明会を行いました

午前9時から入学説明会を行いました。幼稚園に通う保護者や新たに四月から入学する保護者に集まっておりました。11月15日現在、入学希望者は50名で、新1年生は3クラスを予定しています。

午後2時から行った入園説明会には20弱の家庭が集まりました。例年どおりだと、これからまだまだ増えることと思います。

商工会事務局から案内を出してもらったり、補習校HPで案内したりしていましたが、来年4月から、幼稚園年長児になる子どもさんや新入生がいるご家庭で、入園・入学説明会が予定されていたことを知らなかった方もいらっしゃるでしょう。

補習校保護者の中で、新入園児、新入生がいるご家庭を知っている方は、「事務局に連絡すれば！」と一声かけていただけると幸いです。

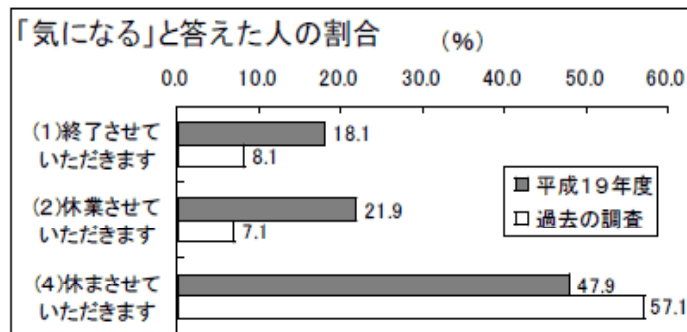
## 「国語に関する世論調査」(3)

### ～気になる言い方～

(1) これで、会議を終了させていただきます。

(2) 今月末で、休業させていただきます。

「…(さ)せていただく」という敬語の形式は、基本的には、自分側が行うことを、ア)相手側又は第三者の許可を受けて行い、イ)そのことで恩恵を受けるという事実や気持ちのある場合に使われます。二つの条件をどの程度満たすかによって、その適切さの度合いが異なってきます。(1)(2)は条件を満たすような状況(そのように見立てることが不自然でない場合も含む。)があれば適切な用法と言えますが、そうでない場合には、「終了いたします」「休業いたします」という言い方がふさわしい表現と考えられます。



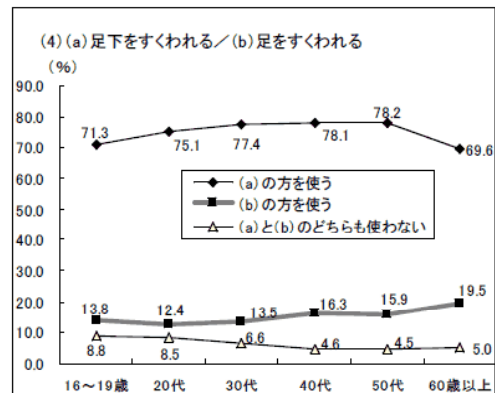
(4) 明日は、休まさせていただきます

「休む」の場合には「休まさせていただきます」が適切な言い方です。「休まさせていただきます」のような言い方は、不要な「さ」が入ることから「さ入れ言葉」などとも呼ばれています。これは、「させていただきます」という言い方を固定的にとらえて、そのまま動詞に

付けてしまうことによる誤用と考えられます。

### ～慣用句の意味～

横の表(4)では、本来の言い方とされる(b)「足をすくわれる」を使うと答えた人は、どの年代でも1割弱から2割弱程度にとどまっています。



その中で60歳以上では19.5%と、他の年代に比べて高い結果が出ています。(a)「足下をすくわれる」を使うと答えた人はどの年代でも高く、約7割から8割弱となっています。

さて、生徒のみなさん、場に応じて正しい使い方をすることが求められますが、いかがでしょうか。

世論調査の全体の概要は、文化庁のHPを参考にしてください。20の項目があり勉強になりますよ。

## ◆パトロール当番予定表 12月6日◆

～よろしくお願ひします～

学年	順位	児童生徒氏名
★AM1リーダー 小3	1	山田 有希子
	2	ワスマン ジョセフ 龍
	3	中村 瑞季
	4	井上 葵
	5	織田 恭輔
	6	佐藤 沙彩
	7	岡部 莉子
★PM1リーダー 小4	1	尾崎 友哉
	2	大原 拓海
	3	佐治 優花
	4	野沢 莉沙子
	5	岩本 紗英
	6	寺田 裕
	7	原 慶洋郎

### <転出>

ティッドモア春守くん(幼星) 短い期間でしたが集団生活を通じて日本語が学べましたか。いつでも補習校に遊びに来てくださいね。

お元気で、さようなら。

### <転入>

鈴木 亨くん(小1 B) ようこそ、ヒューストンへ。わからないことがあったら、遠慮なくお友だちや先生にたずねてください。仲良く勉強していきましょう。よろしくお願ひします。